1929. 2. 15.　　No. 3.

勝見下駄工場
争議ニュース

発行所 争議団

前代未聞の職工のカンヅメ!

いつでも職工の先頭にたつて待遇改善を要求して戦つてゐる金刺喜三郎君がゐては労働者を思ふ存分搾り骨のズイまでシャブルことが出来ないから極悪非道な勝見銀蔵は金刺君外五名を解雇してしまつたのだ!

これを聞いた全従業員は憤慨してこんな不当な首切りがあるかと全員結束して復職運動を起し……そうとした、早くもこれを聞き込んだ勝見は狼狽して職工の家庭を訪問して「そんな事をやれば警察から引つぱりにくる お前の小伜も首を切るぞ」と脅かして歩き強制的に工場の二階に引つぱり込んで下で警察の奴等に見張りをさして毎日御馳走政策や脅かし文句を揃へて強制的に仕事をさしてゐる

争議団を切り崩しに歩く犬共 見つけ次第タタキのめせ!

去る十二日夜静岡駅前小松神社横縁喜に俺は静岡署の刑事だがお前の家は勝見下駄工場に出てゐる海野慕作の姉かゐるかとあがりこみ…をたいかくれんで海野君の姉さんをよんで「お前は勝見下駄工場のストライキを知つてゐるか お前の弟は争議団に加盟してゐるぞ いつまでもあんな仲間にはいつてゐると今に都合悪く引つぱられ家君も迷惑だ 兄貴のツラをよごしK なる早くつけて来て勝見さしK仕事にやれ」と脅かしあがつた

吃驚した姉さんは争議団にとんできて引つぱつて行かうとしたが争議団からワジイ話を聞かせたらナンダそんなことかとアベコベに争議団を激励して帰つた 悪らつな勝見はこんな所にまで手をのばして争議団を切り崩し団員の血の出る様な要求をふみにじろうとしてゐるのだ こいつ大馬鹿野郎の手先となつて呑み代をとこまわつて切り崩に歩るく犬共 全静岡の戦闘的労働者諸君はこんな奴等を見つけ次第足腰の立たぬまでタタきのめしてやれ いゝかい頼んだぞ!

叫然! 争議団に同情集る!

勝見の野郎に苦しめられ勝見工場を出た労働者や同じ産業の下駄、木材の労働者よりモリく応援の手はさしのべられてゐる 先日も争議をやつてゐると聞いた同じ下駄工場の労働者諸君は有志として相談会を開いて応援方法を決定して応援金三円五十銭と最後の五秒まで戦つてくれ俺達も兄貴を見殺しにしないぞ!。強欲勝見を屈服させるまで戦へと激励してくれた 一度戦つた経験を持つ静岡下駄仲仕諸君からは一人の裏切者も出すな!。八共が妨害したら足し(し)てやる、奴まで ゆめしてもやる 日頃腕ブシをきたえてゐる俺達が応援に行くぞ!。激励文と仁王様の様な手紙を寄越してよこした